

● C 目的:中心概念

地方の創生は 古文書の復活 から 高齢者・主婦・身障者 へ 技能の養成

古文書は 日本人 識字率 が "世界最高峰" であった 唯一無二の 証拠

◆ 【古文書の情報】 地域興しの基盤 (地域住民が喜ぶ 各地域 独自の記録)

クールジャパン技能の養成 が 急務

【補修技能: 高齢者・女性】【デジカメ技能: 女性・身障者】など



◆ 「技術者の不足」: プロ職人の「技術が温存」されている → 提案B 技能を養成 させる

「技能の伝授」⇒ 内需拡大 ⇒ 外貨獲得 へ

◆ 「仕事量の不足」: 「古文書の消滅」を救える 発注量が不足 → 提案C 国内外から受注

◆ 「仕事場・社交場」の不足: 作業場・コミュニティの場の不足 → 提案D・E 仕事場 & 社交場 の設置 予算の捻出

● S 状況 詳細1

- ◆ 「古文書」: は 世界遺産に相当 (動画) しかし天災・人災で消滅
- ◆ 「病院のサロン化」、「働けない・働かない」理由

● I 具体案 (提案) 詳細1 提案BCDE

- ◆ 「地域興しの基本」: 10年後では不可能: “消滅” (動画)
- ◆ 簡単な作業: 補修・撮影・撮影 (動画)

● V 判断 詳細2 (急務)

- ◆ 「古文書の消滅」 事前対策をしないと・・・「取返し」がつかない
- ◆ 「高齢化社会」: 「手に職」をつける事が急がれる

● P 実行計画 詳細3

- ◆ セミプロ化: 1~6ヶ月で「セミプロ化教育」を実行
- ◆ 実証実験と長期計画 全国47都道府県単位において期待